

さまざまな文化事業を展開



小上がりのある1階「子ども読書室」



落ち着いた雰囲気の中で読書ができる2階「閲覧室」

図書館では、楽しみながら読書に親んでもらうため、各種団体などの協力を得ながら、主に子供たちを対象とした催しが開かれています。本を読む場所としての図書館に加え、生涯学習・文化活動の場としても活用されています。

今年七月二十四日に、粘土を使って、湯飲み、花瓶、皿作りなどに挑戦した「夏休み子ども会」や、七月二十七日と八月三日には、読書活動の増進と想像力を高めるため、シナリオ作りから製本までの一連の作業を行った「手づくり絵本講習会」が開かれました。

夏休み子供会に参加して



片岡千聖さん  
(白二小・5年)



夏休みの自主学習の作品として、ろくろを使って小鉢を作りました。指先の加減で、すぐに形が変わってしまふところが難しかったです。

自分で料理したおかずを、この小鉢に入れて食べたなら、きつとおいしいと思います。焼き上がりが楽しみです。

手作り絵本講習会に参加して



山岡 洋くん  
(福岡小・6年)



絵本に興味があって、この講習会に参加しました。絵本の内容に合わせて絵を考えるのが難しかったです。工夫したところは、挿絵に切り絵を使っただけです。

この本は、大人になったときに子供のころを振り返る思い出にしたいです。

今後の予定

本とあそぼう 全国訪問おはなし隊による 読み聞かせ

- 日時 9月25日(火)午後3時
- 絵本や紙芝居などの読み聞かせ (詳しくは14ページをご覧ください)
- おもしろ絵本の展示会
- 期間 10月中旬～11月上旬
- 子供たちが親しみやすい、見て・さわっておもしろい絵本、珍しい絵本などを展示します。
- 手づくり絵本展示会
- 七月・八月に行った手づくり絵本講習会参加者の作成したオリジナル絵本の展示を行います。

子どもでくつろぎながら絵本などを読むことができます。

本を返すときは、できるだけ開館時間内に一階受付へお返しください。閉館しているときは、正面入り口の右側にある水色のブックポスト(雑誌・郷土資料・紙芝居などを除きます)へお返しください。



移動図書館車 「こまくさ号」をご利用ください

図書館を直接利用できない方のために、市内二十五カ所のサービスポイントを、移動図書館車「こまくさ号」で巡回しています。

こまくさ号には約千五百冊の本を用意しています。一人五冊まで借りることができ、返却日は次回の巡回日となります。

運行日などについては、毎月の図書館だよりをご覧ください。



図書館の各種サービス

図書館では、書籍の貸し出し以外にも、いろいろなサービスを行っています。

予約・リクエスト

お探しの本が貸出中のときは、予約をすると、その本が現在利用されている方から返却された後にご利用できます。

また、お探しの本がないときは、購入するか、宮城県図書館やほかの市町村の図書館から借りてご用意することができます。

レファレンス(参考業務)

調べものやわからないことについて

白石市図書館利用状況

貸し出し冊数	95,940冊
登録者数	6,314人
入館者数	48,803人
リクエスト	999件
コピー	832枚
レファレンス	354件
閲覧室利用者	023人
相互貸借の状況	278件
(貸出75件、借受203件)	

登録率	15.4%
登録者一人当たりの貸し出し冊数	15.2冊
(貸し出し冊数÷登録者数)	
市民一人当たりの貸し出し冊数	2.3冊
(貸し出し冊数÷人口)	
市民一人当たりの蔵書数	2.1冊
(蔵書冊数÷人口)	
人口は平成13年3月末現在41,015人で計算	



白石市図書館利用案内

開館時間  
火曜日～土曜日... 9時～17時  
日曜日... 10時～16時  
休館日 毎週月曜日、毎月末日、国民の休日、年末年始、曝書期(10月1日～10月10日)ほか

図書館ホームページ  
URL <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/toshokan/>

同じ本を続けて借りたいときは、返却期限までに受付へ本をお持ちください。ほかの方の予約がなければ、もう一度借りることができます。

て、資料探しのアドバイスをいたします。

コピーサービス

図書館の資料について、著作権法の範囲内でコピーをとることができます。料金は一枚十円です。

利用者の声



高橋玲子さん(大平中目)  
拓真くん(大平小5年)  
直樹くん(大平小3年)

月に2～3回、図書館を利用している高橋さんご家族。玲子さんは料理や子育て、家庭の医学といった実用書、拓真くんは歴史や怪談の本が好き、直樹くんは動物や工作の本をよく借りるそうです。

図書館へのお願いを尋ねると、玲子さんは「日が長い時期は、もう少し閉館時間を延ばしてほしい」、拓真くと直樹くんは「1回に借りられる本の数をもっと増やして」という答えが返ってきました。



鈴木美名さん(南町)  
萌さん(白二小4年)  
菫さん(6歳)

週2回は図書館を利用している美名さん。萌さんと菫さんも週1回は利用するという図書館大好きな鈴木さんご家族。美名さんは小説、萌さんは怪談、菫さんは絵本や童話の本を主に借りるそうです。

図書館のイメージを尋ねると、「職員の皆さん親切で親しみやすい。このような雰囲気をずっと続けてほしい。また、パソコンで気軽に好きな本が探せるのがいいですね」と答えてくれました。

利用者の声を大切に

図書館では、アンケート箱やEメールでのご意見、ご要望など「利用者の声」を大切にしながら、蔵書の充実を図ってきました。毎年、約四千冊の新作を購入し、そのいくつかを「広報しろいし」や「図書館だより」でも毎月紹介しています。

また、バランスのとれた図書資料の整備、移動図書館車「こまくさ号」の効率的運行、地域家庭文庫の育成

普及などに努めています。

これからも図書館は、次代を担う青少年の勉強やふれあいの場として、生涯学習や文化活動の場として、市民に親しまれ、気軽に来館できる図書館を目指していきます。

問い合わせ

白石市図書館  
〒989-0257  
白石市字巨理町三十七-1  
☎26-3004  
☎26-3505